



生涯学習だより ②1

■お問合せ
生涯学習課(内線 72232)
— Life Long Learning —

※Life Long Learning=生涯学習

「第9回全国こども陶芸展inかさま」

今年で9回となりました「全国こども陶芸展」には、全国から1,389点(当陶芸展歴代2番目)のたくさんの応募がありました。

作品はおとな顔負けの力作ぞろいで、その中から特にすぐれた151点が選出され、内閣総理大臣賞をはじめ文部科学大臣奨励賞などの各賞が授与されました。

8月の茨城県陶芸美術館・県民ギャラリーでの展示では、来館者から、作品のすばらしさに、感心と驚きの声があがっていました。



←「幸せを運ぶブタの親子」
内閣総理大臣賞

夏の図工教室開催

毎年春と夏、武蔵野美術大学のサークル「アトリエちびくろ」による「図工教室」が、岩間体験学習館「分校」を舞台に30年以上続けられています。今年も夏休みの10日間、学生50人、地元の小学生40人、さらに東京からも20人の小学生が参加して盛大に図工教室が行われました。班活動や川遊びやハイキングなどの体験活動のほか、お祭りを開催して地元の方々との交流を図りました。



←図工教室夏まつりの様子

「亀の甲より年の功」

9月21日は敬老の日です。市内には65歳以上の高齢者は18,671人、100歳を達成された方(本年度中に迎える方を含む)が6人います(8月1日現在)。高齢化が進む中での象徴であります。

行政では、65歳以上の方を高齢者と位置づけておりますが、現在の65歳以上の方を見ていると、若々しくエネルギーにあふれている方が多く、高齢者の定義年齢の引き上げが必要だと思います。

年長の方は、長い年月で得た経験や知識、知恵をたくさん持っています。その経験を生かしていただきたいと思います。歴史、伝統の知識を持ち、多くの人間関係を築いてきた立場で、特に地域でのまとめ役として、若い人達にアドバイスをしていただけることを期待します。

高齢化社会は、経験豊富な方が増えるとの意味では、社会にとってプラスになると思います。一方では、「老いては子に従え」とのことわざもありますが、従うのではなく、「老いの一徹」にならぬよう若

こんにちは市長室です



山口市長



西茨城100kmの旅に一部参加して歩く(8/9)

い人の意見に耳を傾けていただきたいと思います。

行政は、高齢化社会に合わせたインフラの整備や生活スタイルに対応しなければなりません。道路、住宅、公共施設、移動手段等、ユニバーサルデザインを取り入れ、きめ細かな対応が必要です。

私の人生は、「老いてますますさかん」を目指したい。

笠間市長
山口伸樹